

市で活動する地域おこし協力隊の取り組みを掲載します。



とうだ かずま
任田 和真さん
(高階地区)



廃校ビアガーデン
2019 in 高階小の開催チラシ



子どもから大人まで
100人以上が参加しました。



夏といえば流しそうめん!
子どもに大人気でした。

【廃校ビアガーデン2019 in 高階小】

高階地区は、旧高階小学校校下にある9つの町会で構成された地域です。学校を中心に育ってきた地域コミュニティにとって、学校が「にぎわいの中心地」であることは廃校になった今でも変わりません。そんな場所にもう一度にぎわいを生み出したい。その思いで平成30年は、人気テレビ番組「逃走中」を模した大人と子どもの大規模鬼ごっこ「廃校中」を企画し、令和元年は廃校での「ビアガーデン」を企画し、8月に実施しました。

会場は学校の駐車場。準備したものは、バーベキューコンロとビールサーバーと食卓と流しそうめんだけ。ただそれだけしかないのに、総勢100人以上もの人が参加するイベントになりました。その背景にはやはり「学校は大切な場所」という地域住民の共通認識があり、それが多くの人の関心を集め自然と足を運びきっかけになったのかなと思います。

まちづくりは人づくり。こういったイベントを通して、自分のまちの未来に関心を持ち、ワクワクする未来を自分たちで作っていく仲間が少しでも増えればいいなと思っています。

「地域おこし協力隊」制度は、都市部から過疎地域などへ移住し市から委嘱された人が、住民と協働して地域課題の解決に取り組むことです。

七尾城トレッキング ～秋の陣～

七尾城探訪

毎月違う担当者から七尾城の魅力をお伝えします。

能登の國七尾城プロジェクト実行委員会 副実行委員長 北林 雅康

昨今の山城ブームで、七尾城には大勢の観光客が来城しています。大半は本丸駐車場まで車で来ますが、麓から旧道を通って登る観光客が増えていきます。家族連れや女性1人で登ることも珍しくありません。

そんな中で、令和元年11月23日(土)に「第1回トレッキング&秋の味覚～七尾城・秋の陣～」を開催しました。全国から定員100人を超える応募があり、好天の中、錦秋の城山を大手道コースと隠し道コースに分かれて歩きました。本丸からの絶景を眺めながら室町時代の饗応料理を復元した「七尾城歴弁」を食し、同時にタイムスリップした気分になった後は、七尾城の解説を聞きながら下山し、笑顔でゴール。参加記念としてオリジナル七尾城Tシャツや限定ご城印、缶バッジをプレゼントしました。

参加者から大好評をいただきましたので、令和2年に第2回を開催する予定です。その際は、ウェブサイト「能登の國七尾城プロジェクト」などでお知らせします。ぜひお楽しみに。そして、これからももっと七尾城ファンを増やせるように、魅力を再発見できるイベントを発信していきます。



隠し道の急坂にチャレンジ!



七尾一帯を見渡しながらお昼ご飯。

「笑顔をつくる作戦会議」次回開催！

日時	2月21日(金) 19:00~
場所	中島文化センター2階(能登演劇堂)
内容	テーマに分かれて課題と対策案を考えます。
テーマ	・地域環境(コミュニティ、人間関係など) ・生活(通信、買い物、子育て、教育など) ・仕事、お金 一緒に思いを形にしていきたいと思います！



11月22日の「中島100人会議」の様子

市で活動する地域おこし協力隊の取り組みを掲載します。

地域おこし協力隊活動日記



ほんなにともこ 本谷 智子さん (中島地区)

「笑顔をつくる作戦会議」開催！

「このままでは中島町がやばい！」人口減少や少子高齢化によりさまざまな問題が浮上しています。そんな状況を「何とかしなければ」と立ち上げたのがNプランニング。中島町で地域づくり活動を続けていた北豊弥さんと丸山英邦さんと一緒に、「繋げる、支える、育てる」をテーマに活動する支援団体として平成29年にスタートしました。

中島町に活気を取り戻すべく「笑顔をつくる作戦会議」を企画しました。昨年11月22日には「中島100人会議」を開催。約50人が参加し、祭りの継続や子育て、町会の問題など400件以上の考えを聞くことができました。1月24日にはその問題の原因や本質を話し合ったので、2月21日には課題と対策案を導き出したと思います。その後は、テーマごとに立ち上げたプロジェクトグループが問題解決に向け、活動していきます。

地域おこし協力隊の任期があと半年と迫っていますが、引き続きこのチームで取り組んでいけそうです。地域の人たちの笑顔をつくることはもちろん、携わっている自分たちも笑顔で活動を続けられるような町づくりができればと思います。

「地域おこし協力隊」制度は、都市部から過疎地域などへ移住し市から委嘱された人が、住民と協働して地域課題の解決に取り組むことです。

石垣の見方、楽しみ方

七尾城探訪

毎月違う担当者から七尾城の魅力をお伝えします。

石川県金沢城調査研究所 総括担当課長 富田 和気夫

七尾城は石垣の名城。「でも石垣の何が面白いの？どこを見ればいいの？」。今回はそんな声に応えて、石垣を見る秘訣を伝授しましょう。

①石垣は離れて見る 正面から遠目で石垣の全体を眺めてください。石垣は1段ごとに石を積み上げて造られるため、下から上へ石の積み方を追いかけると、その積み上げる過程がイメージできます。



自然石を積み上げた安定感のある石垣

②石垣は近づいて見る 石の向きや支点の位置など、石の置き方に注目します。「石が行きたいところに行かす」。それが多様な自然石を安定的に積み上げる極意だそうです。



弧を描いて延びた低い石垣

③石垣は横から見る 石垣を造る現場には、造る場所や出来上がりの高さ、傾斜の目安を示すために縄や板が張られます。真っすぐに延びた石垣、弧を描いて延びた石垣などがあり、その微妙な違いに石垣の技術と歴史をひもとく鍵が秘められています。

あっと、もう与えられたスペースが尽きてしまいました。石垣を見る秘訣はまだあります。続きは、いずれまた。

七尾警察署
七尾鹿島防犯協会
☎53-0110

七尾鹿島地域安全ニュース

インターネットの危険から子どもたちを守ろう！

個人情報の管理はしっかりと

ネット上で安易に写真の投稿や書き込みをすると、個人情報が特定される可能性があります。出回った情報は削除が難しく、多数の人に知れ渡ります。

自撮りによる被害が増えています

ネットを通じて知り合った人を信用し、自分の裸や下着姿の写真を送信してしまい、後日、写真とともに脅されるなどの被害が増えています。

ながらスマホは危険がいっぱい

スマホを操作しながら歩く・自転車に乗るなどの「ながらスマホ」は事故に遭ったり、性犯罪に巻き込まれたりすることがあります。

誰かを傷つけることもあります

ネット上の書き込みだけでは気持ちが正確に伝わらず、誤解を招いて思わぬトラブルになることがあります。

ゲーム機やスマホでの遊び方には注意しよう！

- ゲームのやり過ぎ、のめり込みに注意
ゲームにのめり込んで生活リズムが狂い、学校に行けなくなることがあります。
- ゲーム内のアイテムやデータを売買しない
ゲーム内のアイテムやデータを現実のお金で売ったり買ったりすると、犯罪に巻き込まれる危険性があります。
- 高額請求
ゲームで課金した結果、高額利用料を請求されることがあります。



消防だより

七尾鹿島消防本部
☎53-0119

救急のために救急車と消防車が同時に出勤する場合があります

七尾鹿島消防本部では早期に傷病者への適切な救急活動を行うため、救急車だけでは対応が困難な場合や救命のために一刻を争うときは、消防車が同時に出勤し救急支援活動を行います。このため、消防車がサイレンを鳴らして出勤する場合があります。皆さまには火災と勘違いさせてしまう場合がありますが、ご理解とご協力をお願いします。

傷病者とは
けがや病気により体の具合が悪くなった人をいいます。

救急車と消防車が同時に出勤する事例

- 階段や通路などの狭い場所、2階以上の高い階に傷病者がいる場合など、救急隊だけで搬送することが困難なとき
- 交通量の多い場所など、傷病者や救急隊の安全を確保する必要があるとき
- 救助活動を伴うとき



※現場の状況によって、後から消防車が現場に向かう場合もあります。

地域おこし協力隊活動日記

市で活動する地域おこし協力隊の取り組みを掲載します。



にっ たきょうへい
新田恭平さん
(崎山地区)

【 漁乗船体験の案内役 】

私は今、崎山地区の特産品の生産やPRのほかに、地元の鹿渡島で漁師をしながら漁乗船体験の案内役もしています。今回はそのお話を紹介します。

朝3時に体験者とともに乗船し、沖へ出発。漁師の作業や魚の種類、周辺景色などを説明しながら、漁師の仕事ぶりや水揚げされた大量の魚を間近で見てもらいます。種類別に魚を選別したりさばいたりする様子も見学でき、希望者は取れたての魚を使った漁師飯も堪能することができます。

さらに、普段乗らないから見るのではない海上からの満天の星空や、普段起きているのから見るのではない夜明け前の海など、体験ならではの魅力をたくさん紹介しています。皆さんに知ってほしい崎山地区の観光資源の一つとして、もっとPRしていきたいと思えます。

崎山地区にはまだまだ紹介されていない観光資源がたくさんあると思います。地域おこし協力隊として、一つでも多く皆さんに発信していきたいのでぜひ崎山にお越しください。

七尾城を守り伝えるために

東北芸術工科大学歴史遺産学科教授 北野 博司

市民にとって七尾城はあって当たり前の存在で、無関心な人も少なくないことでしょう。それくらい日常の風景と意識の中に溶け込んでいます。首里城の火災のように、人は失って初めてその存在の大きさに気がきます。

住民の誇りと帰属意識を育み、学校教育や生涯学習、まちづくり、観光に生かせるのが文化財です。しかし、人々の生活形態や価値観が多様化し、地域コミュニティのあり方が変化してきた現代、この地域の宝を行政だけでは守りきれなくなっています。そのため、各地で市民やNPO、企業などが連携し、社会総がかりで継承する取り組みが始まっています。

私が関わっている羽州街道榎下宿金山峠越(山形県)という史跡では年3回、市民ボランティアが市職員とともに除草や倒木処理、遊歩道の整備に汗を流しています。昼には地元の「ばあちゃんずくらぶ」が作る郷土料理を食べ、作業途中には専門家が歴史や自然観察のガイドをしてくれ、楽しく取り組んでいます。

今、山城歩きはブームです。健康増進やレクリエーション、憩い、学習など、市民が自分に合った「七尾城」を発見し、楽しむことが重要だと思います。

最終回 七尾城 探訪

毎月違う担当者から七尾城の魅力をお伝えします。



七尾高等学校の生徒による七尾城の遊歩道整備



市民ボランティアによる金山峠越の保全活動



能登島産の海塩と藻塩



能登島産紫芋を使用した餅と特製小豆



雪が積もった2月9日のまあせいマルシェ

市で活動する地域おこし協力隊の取り組みを掲載します。

最終回

地域おこし協力隊活動日誌

昨年6月から始めた「まあせいマルシェ」。今年も多くの人に楽しんでもらえるように開催します。

年明けの第1回目は、2月9日(日)に能登島向田集会所で「餅&コトはじめ」をテーマに開催しました。メインは、能登島のお母さん特製小豆を添えた能登島産紫芋の餅。訪れた人に振る舞い「かわいい!」「小豆がおいしい!」などと喜んで食べてもらえました。その他、多くの出店者の協力の下、おしるこやおはぎ、福笑いなどを用意し、正月気分を味わえるように工夫しました。次回開催は4月12日(日)を予定しています。新型コロナウイルスの影響で中止になることもありそうですので、まあせいマルシェのフェイスペインクックで確認するか、能登島地区コミュニティセンター内まあせいマルシェ担当にお問い合わせください。

今、のと島クラシカ研究所のまあせい商品が好評販売中です。特に能登島自然の里ながさきで作る海塩と、海藻の成分が入った藻塩が大人気。藻塩は見た目がピンク色で「かわいい」と女性受けがいいです。料理に入れるとうま味がプラスされておいしくなりますので、ぜひ試してみてください。

「まあせいマルシェ 2020スタート!」



でじま み 出島この美さん (能登島地区)

「地域おこし協力隊」制度は、都市部から過疎地域などへ移住し市から委嘱された人が、住民と協働して地域課題の解決に取り組むことです。

わくライナーでLet's go 高岡



富山県高岡市では、4月から5月にかけてイベントや行事がめじろ押しです。5月1日(金)には、ユネスコ無形文化遺産に登録された高岡御車山祭が開催されます。加賀前田家二代目当主前田利長公が、豊臣秀吉ゆかりの御所車を町民に与えたことが始まりとされる歴史ある祭りで、毎年多くの観光客でにぎわっています。



高岡御車山祭の見どころ

金工や漆工などの工芸技術を駆使して装飾された7基の御車山がそろう光景は圧巻!

山車と山車がぶつかり合う「かっちゃ」が見応えの伏木曳山祭「けんか山」や高岡獅子舞大競演会など、他にもたくさんあります。詳しくは、高岡市観光ポータルサイト「たかおか道しるべ」またはQRコードを読み取ってご確認ください。



高岡・氷見・和倉温泉特急バス わくライナー

予約不要

七尾と氷見と高岡をつなぐ、安心して便利な特急バス。七尾駅前から高岡駅前までの移動時間は約1時間半。道中はきれいな景色や町並みを楽しめます。運行日や発着時刻、運賃など、詳しくは加越能バス(株)のホームページまたはQRコードを読み取ってご確認ください。



問 加越能バス乗車券センター ☎0766-21-0950



七尾鹿島地域安全ニュース

七尾警察署
七尾鹿島防犯協会
☎53-0110

子どもたちの安全対策!

不審者や犯罪者は、見た目だけでは判断が付きません。子どもが「危険な場所」に入ったときは、犯罪などに巻き込まれないように、細心の注意を払ってください。周りからよく見える「安全な場所」を心掛け、「いかのおすし」を合言葉に子どもを不審者から守りましょう!

- ⚠️ 危険な場所 … 入りやすくて、見えにくい
- 📍 安全な場所 … 入りにくくて、見えやすい



⚠️ 入りやすい場所



⚠️ 見えにくい(見られにくい)場所



📍 入りにくく見えやすい場所

不審者対策の合言葉は

いかのおすし

- い 付いていかない。
- か 車にのらない。
- お おお声を出す。
- す すぐに逃げる。
- し しらせる。



保護者の皆さまへ

子どもが遊びに行くときは、①誰と ②どこで ③何時に帰ってくるか、出掛ける前に確認をお願いします。



消防だより

七尾鹿島消防本部
☎53-0119

野外焼却(野焼き)は原則禁止です!

稲わらの焼却、あぜ焼き、たき火などの不始末から、火災が後を絶ちません。安易な行為から火が燃え広がり、家屋や山林に燃え移ることもあります。



なぜ禁止?

野焼きの煙が、洗濯物に付いたり家の中に入ったりと近隣の迷惑につながり、そこから大きなトラブルに発展する恐れがあるためです。

例外の一例

- ◆ 家庭菜園などで出た枯草や木の焼却であって、軽微なもの。
- ◆ 農林漁業を営むためにやむを得ず行われる焼却。
- ◆ 風俗慣習上または宗教上の行事を行うために必要なものとして行われる焼却。
- ◆ 国または地方公共団体が施設管理に必要なものとして行われる焼却。
- ◆ 震災・風水害など、応急対策または復旧に必要なものとして行われる焼却。

注意点

- ◆ 周囲の人に迷惑となるものは軽微な焼却にはなりません。
- ◆ ビニールやプラスチック類などを混ぜてはいけません。
- ◆ 強風時および乾燥時は避けること。
- ◆ 火気の使用中はその場を離れず、必ず消火を確認すること。
- ◆ 周囲に燃えやすいものがないか確認すること。
- ◆ 火がつきやすい衣服を着ないこと。
- ◆ 消火用具その他火災予防上、必要な措置を講ずること。